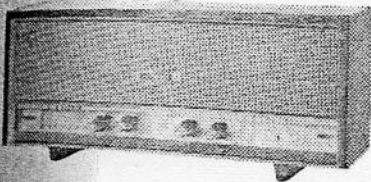


国内新製品紹介

ビクターの新製品2種

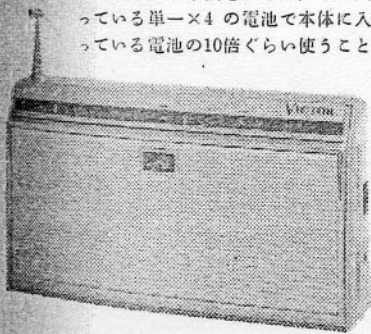
●FMつき3バンド・ラジオ“F-15”

FM (76~90 Mc), 短波 (3.9~10.5 Mc), 中波 (535~1605 kc) の3バンドで、6球のマジックアイつきオール・ウェーブである。12cmスピーカー2個を内蔵し、出力は無歪1.5W、最大2Wである。録音端子もついていて、テープレコーダーが同社のマグナフアックスにFMのHi-Fi放送を録音することができる。またレコード・プレーヤー、イヤホン端子もついていて、FM用のアンテナを内蔵して放送局に近いところでは別にFM用アンテナを使用する必要はない。なお、ビクター・ワイヤレスマイクを併用して連絡用無線機または小型拡声器として使うこともできる。外形寸法は幅55.4×高さ230×奥行210(mm)で、重量は1kgである。現金正価は ¥18,800



●2バンドTRラジオ“8TA-7”

ビクター創立35周年記念として発売された3石の2バンド・ラジオで、就寝時など同社のスリーブ・タイマー・スイッチ (別売 ¥700) をつければセットした時間に自動的に電源が切れるようにすることができる。また、これ用のバッテリー・スタンド (別売 ¥300) に本機をおけば、中に入っている単三×4の電池で本体に入っている電池の10倍ぐらい使うこと



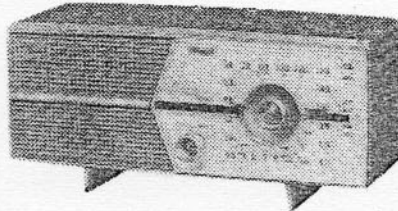
ができて経済である。またダイヤルは夜光性で夜間の選局と楽にできる。受信周波数は短波が3.9~12 Mcで、中波が535~1605 kcであるが、短波用にはNSB用のクリスタルがついていて日本短波放送のキャッチも容易である。スピーカーは6.5cm丸型、出力は最大250mW、電源は単三×4の6Vである。イヤホン端子は1つ。外形寸法は幅165×高さ94×奥行41mmで、重量は電池ともて750gである。現金正価は ¥11,900。

(東京都中央区日本橋4-1 Tel: 241-7811)
日本ビクター K.K.

三洋の新製品2種

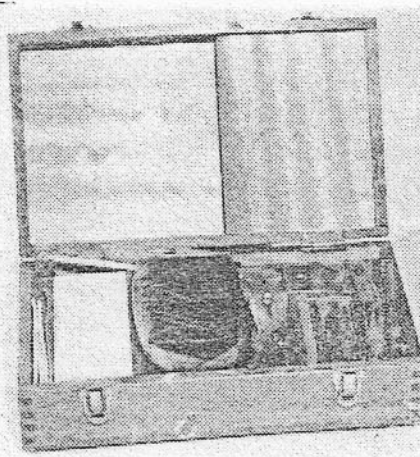
●普及型5球2バンド・ラジオ

12BE6, 12BA6, 12AV6, 30A5, 35W4 という配列の5球スーパーで、中波535~1605 kc、短波3.8~12 Mcの2バンドである。電氣的出力は最大1.1W、無歪0.8W、消費電力は29VAである。スピーカーは10cm丸型を使っている。PU入力端子がついているから、プレーヤーから聞くこともできるし、イヤホンで静かに放送を楽しむことができる。バンド切替は押ボタン式。外形寸法は幅300×高さ106×奥行107(mm)である。現金正価は ¥5,700。



●ポータブル・テーブ・レコーダー“MC-1”

2SB187B×2, 2SB186×2 というオールドランジスターのテープレコーダーで、ポケットにも入るぐらいの小形なものである。録音方式は直続バイアス式、消去は永久磁石方式、トラックは半幅方式で、使用リールは25型、録音時間は20~30分である。巻戻し時間は約3分となっている。スピーカーが内蔵されているが、モニター用としてクリスタル・イヤホンも付属している。電源は単三×4の6Vで、連続使用で15時間ぐらい使える。またリモート・スイッチもつけられ、離れた場所から操作することもできる。テレホン・ピックアップをつければ電話の録音もできるようになっている。外形寸法は幅138×奥行90×高さ50(mm)で、重量は670gである。携帯用の皮ケースも付属している。現金正価は ¥7,700



(大阪府守口市京阪本通2-18)

(三洋電機 K.K.)

住友電工の電子冷却教材セット

最近、電子冷蔵庫などでさわがれあいる、サーモ・エレメントによる電子冷却の教材用実験キットである(本頁の下の写真) このセットはベルチェ効果やゼーベック効果の測定の基礎実験から、温度差、吸熱量の測定、さらには2段冷却、効率の比較など、また応用面としてトランジスターの冷却、スポット・クーリング、露点湿度計など各種の実験を行うことができるものである。セットの部品は電子冷却パネルSCU-825E, SCU-125をはじめ20数点から成っている。別に必要に応じて実験セット専用の電源も用意されている。教材用実験セットは約¥30,000で、電源を含めると約¥60,000となる。

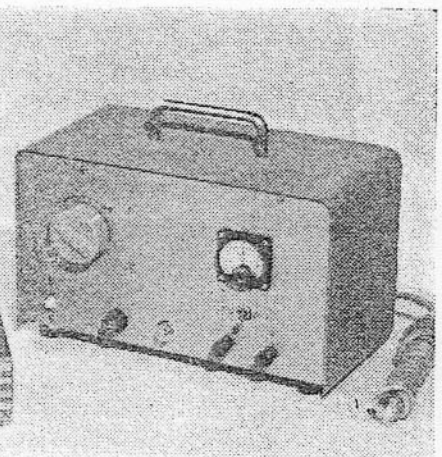
(東京都港区芝罘平町1 Tel: 501-3421)

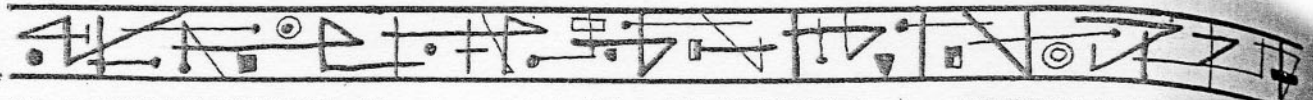
(住友電気工業 K.K.)

ニートのステレオ・プレーヤー

“NP-135S”

プロフェッショナル型に近いステレオ・レコード・プレーヤーである。フォノモーターは選取コイル4ポール4コイル式のインダクション型で、ターン・テーブルは25cm鉄板プレス(1.3kg)のものを使っている。S/N比は40dB





以上、ワウは0.3%以下、回転数は $16\frac{2}{3}$ 、 $33\frac{1}{3}$ 、45、78の4スピードで、速度の微調はマグネチック型で15%となっている。トーン・アームは30cmのダイナミック・バランス型ステレオ用(パイプ)で、4端子プラグイン式のものである。カートリッジは4コイル式ステレオ・ムービング・マグネット型である。

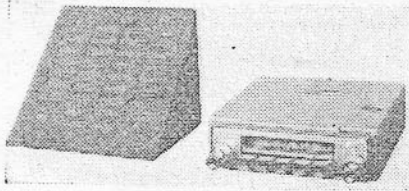


(東京都千代田区神田旅籠町 A-1)

ニート音響 K.K.

ナショナルの自動車ラジオ “AT-309”

松下通信工業が発売したトランジスター式のオート・ラジオである。使用トランジスターは2SA102×4、2SB172、2SB126にダイオードOA70のμ同調方式、高周波一段のスーパーで、受信周波数は535~1605kcであるが、この中波の中の5局はプッシュボタンで選局できるようになっている。感度は26dB以下、(出力0.5W)において、選択度は±10kc離調点で20dB以上、出力は2W、消費電力は13.5V0.55Aである。ラジオの本体は1.55kgで、別にスピーカー・ケースがあって、これの重量は0.7kgである。価格は取付費は別で¥20.100



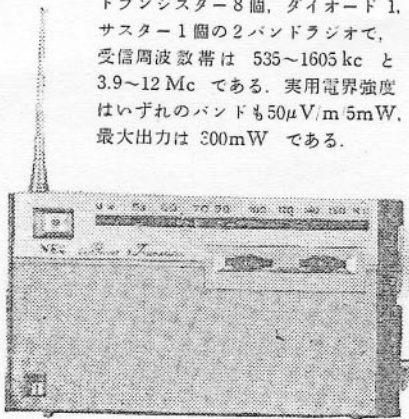
(横浜市港北区綱島町)

松下通信工業 K.K.

NECの新製品4種

●TR2バンド・ラジオ“NT-8P12”

トランジスター8個、ダイオード1、サスター1個の2バンドラジオで、受信周波数帯は535~1605kcと3.9~12Mcである。実用電界強度はいずれのバンドも50μV/m5mW、最大出力は300mWである。

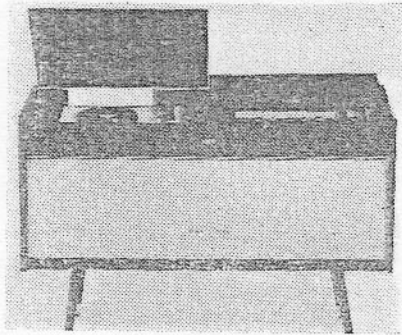


スピーカーは8cm丸型。電池は単三×4の6Vで、使用時間は約30時間となっている。外形寸法は横187×高さ102厚さ×45mmで、重量は電池ともて850g。定価は¥12,000。

●ステレオ・コンソール“NS-102A”

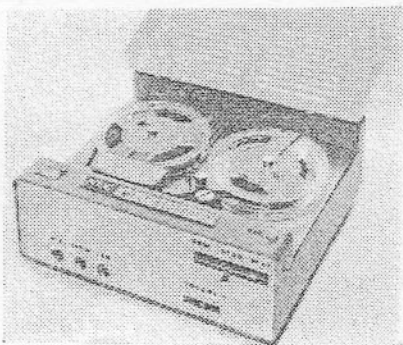
チューナー部は右チャンネルが535~1605kcと3.8~12Mc、左チャンネルが535~1605kcで、出力は2W+2Wのものである。特長は残響附加装置のついていることで、残響時間は最大4.5秒までである。使用スピーカーはNECの20cm型が2個、再生周波数範囲は60~12,000c/sである。以上がステレオアンプ部のNS-102A型の概略で、外形寸法は幅1000×高さ700(脚とも)×奥行354mmで、重量は約16kg。現金正価は¥37,800となっている。

これに取付けるステレオプレーヤー・ユニットNSP100Cは2極インダクション・モーター使い、ターン・テーブルは16cm(ゴムカバーつき、リム・ドライブ)、回転数は4速度、カートリッジはクリスタル・ターンオーバー型式である。針圧は6~8g、この部分の外形寸法は幅326×奥行226×高さ110mmで、重量は1.5kg。現金正価は¥4,700である。



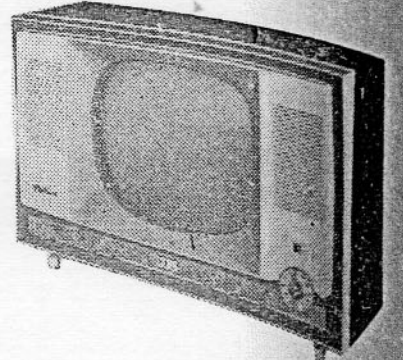
●TR式ミニ・レコーダー“RMT-301”

NECのトランジスター2SB113×3、2SB161×2の5石を使ったポータブル・テープレコーダーで、テープ速度は9.5cm/秒と4.75cm/秒の2スピードである。録音は直流バイアスの、ダブルトラック方式である。使用電源は単三×6の9V(アンプ、モーター共用)で、スピーカーは6cm丸型が内蔵されている。出力は200mW。消去は直流消去、差戻しは2分以内となっている。録音レベル指示がついており、これが電池の消耗も示すようになっている。リモコン用ジャックもついて、別売のフット・スイッチ(¥2000)をつければ足の操作でリモートコントロールができる。またACアダプター(¥3,5000)も売出されている。外形寸法は幅191×高さ67×奥行180mmで、重量は約2.3kgである。現金正価は¥29,800。



●超薄型テレビ“14-S2”

14型で110°偏向、ショートネックのブラウン管を使っているため、奥行はわずか28cmとなっている。ブラウン管を除いて15球とダイオード7個を使った回路で、チャンネルを切換えると同時に自動的に微同調のとれるオートマチック・フィン・チューニング方式がとられている。画面の前にはUVフィルターが取り付けられ紫外線の害を防いでいる。スピーカーは10×15cm楕円型のが2個使われていて、無歪出力は2.0Wとなっている。外形寸法は幅670×高さ395×奥行263mmで、重量は20kgである。現金正価は¥59,000



(東京都港区芝三田)

新日本電気 K.K.

古鷹のビジネスTVモニター “Deluxe E-2”

ビジネス・テレビモニターと称して発売した14型110°偏向のブラウン管を使った薄型で軽量の受像機である。テレビとして初のモノコック構造を採用し、重量は11kg、奥行29.5cmと14型として最小限にまとめられている。

スピーカーは5インチの丸型で前面に向けて取付けられている。音声出力は1.1W。前傾下の脚が2段にかえられ、高さを見やすいところに調節できる。ビジネス用(E-2B)は会社のデスクの上に、モニター用(E-2M)は放送局のモニター、ITVのモニター用として、有線・無線の両用になっている。その他教育用(E-2E)、屋外用(E-2R 附属電源もある)の4種がある。外形寸法は幅350×高さ355×奥行295(mm)。

(東京都千代田区神田旅籠町 3-7)

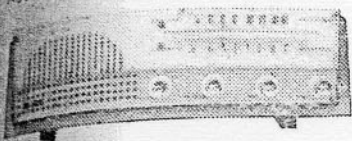
古鷹無線 K.K.

リンカーンの2バンド・ラジオ “5M-111”

6BE6、6BA6(6B06)、6AV6、6AR5、6BK3の5球スーパーで、受信周波数帯は535~1605kcと3.8~12Mcの2バンドで、スピーカー



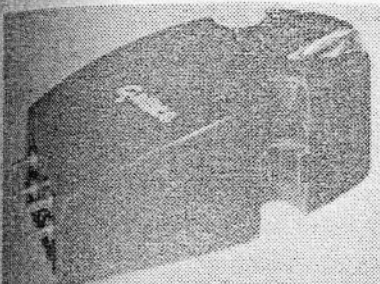
は15×10cmの楕円型のもので、出力1W、消費電力は25VA。外形寸法は幅440×高さ160×奥行150mmで、重量は3.9kgである



(東京都品川区西大崎1の390)
リンカーン電機 K.K.

グレースのステレオ・カートリッジ “F-6H”

4545用のテレオ再生用ムービング・マグネット型のカートリッジである。再生周波数は30~18000c/s(±2.5dB)、出力電圧は約5mV(1000c/s)、直流抵抗は約300Ω(片チャンネル)オンダクタンス約300mH(同)、インピーダンス約2000Ω(同1000c/s)、負荷抵抗30~100kΩチャンネル・バランス:感度±0.5dB(1000c/s)周波数特性±1dB、クロストークは-25dB以下(100c/g)、-18dB(10000c/s)、針先は0.5ミルのダイヤモンド、針圧2~3g、自重は11g、寸法は幅16×長さ36×厚さ18mmのものである。



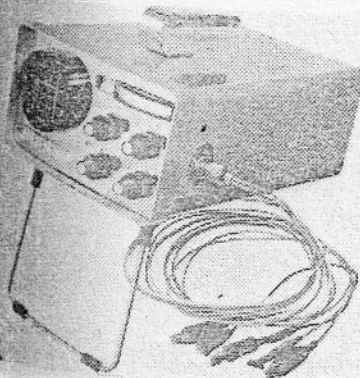
(東京都品川区大井元芝町870 Tel: 761-7744)
品川無線 K.K.

ソニーの新製品4種

自動車でも見られるという超小型ポータブル・テレビを最近発表したソニーでは、次のような自動車整備用機器の発売もはじめた。

●エンジン・スコープ “JS-1”

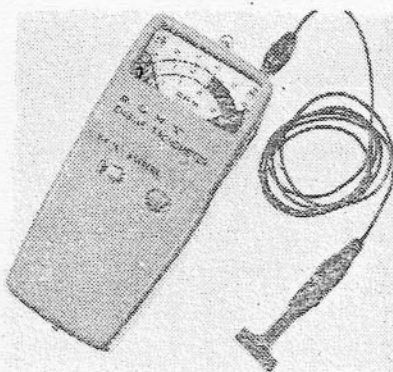
エンジンの点火系統の故障を診断するもので自動車のバッテリー(12V)から電源をとることができるポータブル・タイプで、ガソリン・スタンドやサービス・カーなどが備えて便利なものである。波形方式は一次波形方式、内蔵計器はエンジン回転計(0~5000rpm)と直流電圧



計(0~15V 切換式)、エンジンの形式に従って2, 4, 6, 8(4サイクル), 1, 2, 3(2サイクル)気筒用と押ボタンで切換えて使うことができる。ブラウン管は3インチ。使用トランジスターは10個、外形寸法は横200×高さ120×奥行370(mm)で、重量は約5kgである。正価は¥78,000。

●エンジン・タコメーター “JM-1”

エンジンの高圧コードにクリップするだけでエンジンの回転数が簡単に測定できる。押ボタンによる直読式で、測定範囲は4気筒4サイクルの場合、A型: 0~5000rpm, B型0~2500rpm, 測定可能な気筒数は4サイクルが2, 4, 6気筒, 2サイクルが1, 2, 3気筒のものである。電源としては006P(9V)が使われていて、電池電圧の点検も可能である。外形寸法は幅60×長さ130×厚さ40(mm)で、重量は約300gである。定価は¥6,900。



●オート・スターター “JA-1”

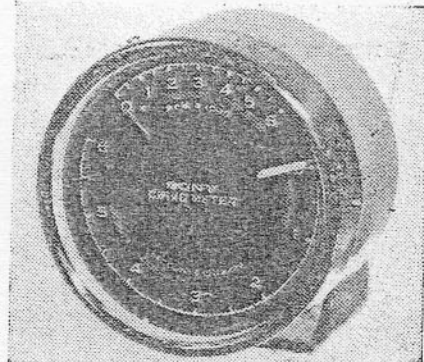
自動車のダッシュ・ボードに取付けて配線をすれば、イグニッション・スイッチを入れただけでエンジンが始動する。そしてスイッチを切らぬ限りエンストする心配はない。また、エンジンの二重かけ(エンジンがかかっているのにセル・モーターをまわすこと)の失敗もないというわけである。電源および動作電圧はDC-12Vで、車種により動作電圧の調節をすることができる。手動、自動の切換えも可能である。外形寸法は横86×縦50×奥行52(mm)である。定価は¥3,200



●ドライブ・メーター “JD-1”

エンジンをベスト・コンディションに保って運転するための計器であって、これをダッシュ・ボードに取付け配線、配管をすれば、エンジンの回転数とバキューム(吸入空気負圧)とが一つの指示板に同時に表示され、エンジンの運転状況を見ることが出来る。指示板面は任意の傾きに調節することができ、照明ランプもつくようになっている。バッテリーの電圧のチェックをすることもできる。回転計はイグニッション・トリガー方式で、測定範囲は0~6000rpm, バ

キューム計はフルドン管型(測定範囲は0~650mmHg)。ケースの寸法は外径90で奥行65mmである。電源は車載用バッテリーのDC12V, +アース, -アースのいずれの車にも使用することができる。定価は¥7,800。



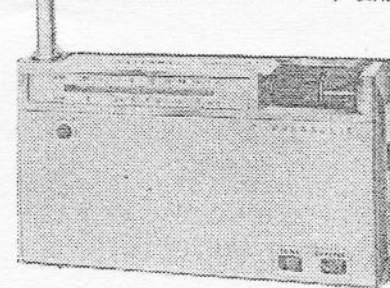
(東京都品川区北品川6-351)
ソニー K.K.

ナショナルの新製品3種

●8石2バンド・ラジオ “バナソニック” T-801D, TS10S

バナソニックとは、ナショナルが北米向け輸出をするときのブランドであって、本機もすでに海外へは輸出されていたが、このたび国内向けにも発売ははじめたのである。

T-801DとT-801Sは外観は全く同じであるがD型の方にはNSB放送受信用のクリスタルが入っており、デラックス(D)とスタンダード(S)とに分けている。中波540~1600kc, 短波3.9~12Mcの2バンドで、使用の



トランジスターは2SA103×2, 2SA101×2, 2SB171, 2SB176×2の8石とダイオード0A70である。感度はMWが70μV/m/50mW(35μV/m/5mW), SWが100μV/m/50mW(50μV/m/5mW)である。出力は無歪200mW(歪率10%以下), 最大300mW。スピーカーは66×104mmの楕円型を使っている。電池は単×4(6V)。外形寸法は幅160×高さ95×厚さ37.5(mm), 重量は600grである。現金正価はD型が¥11,900, S型が¥11,200。

(大阪府北河内郡門真町)
松下電器・ラジオ事業部

●16型高感度受像機 “F16-W7”

16型114°偏向(ワイドスクエア)のブラウン管を使った受像機で、同社のいわゆるゴールデン・ゲート管7DJ8をチューナーのRF増幅に使って高感度なものとしている。使用真空管はブラウン管を含めて16球、それにシリコン・バリオードMA302×1, ゲルマニウム・ダ